

2016年9月2日

県民共済カップ
決勝トーナメント進出チーム代表者 様

(一社) 新潟県サッカー協会4種委員長
鷲頭 昌孝

会場使用にあたっての注意喚起

先日の県民共済カップでは、暑い中、お疲れ様でした。数多くの白熱した好ゲームが展開され、喜ばしいことと感じました。

ただし、観戦においてはモラルを疑う事案がありました。今年は特にひどい状況であったため、異例ではありますが、決勝トーナメント参加チームに下記のように会場使用にあたっての注意喚起をさせていただきます。

チーム内で指導者、保護者とも問題点を共有していただき、今後このようなことがないように、十分配慮いただきますようお願いいたします。

記

<事実>

○スタジアムに過去に例をみない大量のゴミが残されていました。

例年、スタジアムにはフレンドリー参加のチームを含めて24チームが参集しますが、今年は8チームのみでした。

○吸い殻の入ったペットボトルが残されていました。

スタジアムでは喫煙場所が決まっており、吸い殻の管理にも規制があります。施設管理者に、適切な喫煙・吸い殻管理ができなかったことを主催者として説明とお詫びをしました。

<お願い>

- 1 「使った場所は、使う前よりきれいにして帰る。」「ゴミは持ち帰る。」等を実践していただきたい。
- 2 マナーを守れない保護者は問題ですが、マナーを守れているか指導者も確認していただきたい。指導者は当然、選手の模範となるべきであり、保護者も同

様にサッカーファミリーの一員として行動して欲しいと思います。

- 3 大会事務局は、地区（ブロック）を代表するチームである皆さんをリスペクトして、大会運営を行ったつもりです。単に試合で強いだけでなく、地区（ブロック）代表に恥じない行動をされるチームでもあると考えています。試合をするために必要な相手、道具、そして、試合会場にもリスペクトの心をもっていただきたい。
- 4 今一度、選手（子どもたち）だけでなく、指導者、保護者を含めて、地区（ブロック）の代表であることを再認識して、チーム内で共有していただければ幸いです。